



愛教労 夏の自治体キャラバン

行政担当者との懇談会

愛教労は、夏休み期間に恒例の県教委各課担当者との懇談を行いました。教育行政の実務担当者に直接組合の要求の意義を伝えるとともに、彼らのもつ詳細的確な知見を得たことが今後の活動に反映されていくでしょう。

Topic 1

【 特別支援教育課 】 8月8日

①特別支援学級の学級編成を「標準編成の考え方」で行うこと

県は障害種別毎に児童生徒数÷8として学級数を決めています。しかし、文科省の「標準編成の考え方」で編成を行えば、下学年から順に学級を組むので学級増となり、1学級の人数が減る可能性があるのです。

②「4.27通知」への対応は柔軟に行うこと

これは支援学級の児童生徒は週の半分は支援学級で授業を受けるという通知です。将来的には通常学級への転籍を考えているなど、個々の児童生徒の実態に合わせて柔軟に対応をするよう要望しました。

③通級基礎定数化にむけ、教員配置を加速させること

【 幹事：中島 】

【 教職員課 】 女性教職員に関する課題 8月19日

①産・育休取得予定者への前倒し加配が実施されているが、教員不足のため十分に配置されていない事実があり県教委も困っている様子。

②定年延長に伴い健康管理休暇（生理休暇）に男女の更年期障害を含めた休暇制度にしてほしいと訴えた。

③育児短時間勤務者の業務量が多すぎて退職した教員が何人もいることを伝えた。

（幹事：天野）

Topic 2

愛知県における
任意団体等による
「名簿・金品授受」
に関するアンケートはこちら▼

